

## 《改正前》

### 2. 投稿論文の種類

1) 受け付ける論文の種類は、論壇、総説、原著、短報、実践報告、資料であり、それぞれの内容は下記のとおりである。

- ・**論壇**：看護技術に関わる問題や話題のうち、議論が交わされつつあるものについて、今後の方向性を指し示すような著述や提言。原則として、編集委員会からの依頼原稿とする。
- ・**総説**：看護技術に関わる特定のテーマについて、多面的に内外の知見を集め、また文献などをレビューして、当該テーマについて総合的に学問的状况を概説し、考察したもの。
- ・**原著**：研究そのものに新規性、独創性もしくは有用性があり、方法の信頼性、妥当性が高く、データに基づいた知見が論理的に示されており、学術的価値の高いもの。
- ・**短報**：データ数が少ないなど、論文としての完成度は「原著」には届かないが、迅速に公表することにより、看護技術の研究および実践の発展に貢献できるもの。
- ・**実践報告**：看護実践に基づく知見について量的あるいは質的な評価・検証を行ったもので、看護技術の研究として有用であるもの。
- ・**資料**：上記のいずれにも相当しないが、看護技術に関する最新の情報、データを含んでおり、看護技術研究の発展に資するもので、編集委員会が公表する価値があると認めたもの。

なお、論文種は、最終的には編集委員会が決定する。

### 7. 原稿執筆の要領

2) 原稿はA4判横書きで、1行の文字数を35字、1ページの行数を28行(約1,000字)とし、適当な行間をあける。その際、各頁の下中央に頁数を記入する。

4) 原稿(論壇ならびに資料を除く)には250語前後の英文抄録ならびに400字程度の和文抄録をつける。英文抄録は表題、著者名、所属、本文の順にダブルスペースで記載する。論文種が論壇ならびに資料の原稿には、和文抄録のみを添付すること。

なお、英文抄録作成にあたってはネイティブチェックを受け、原稿投稿時にその証明書(形式は任意)を添付すること。また、受理された投稿原稿について、編集委員会の判断により、再度ネイティブチェック証明書の提出を求められることがある。

5) 投稿原稿の1編は本文、文献、図表を含めて下記の文字数以内とする。

論壇	4,000字以内
総説	16,000字以内
原著	16,000字以内
短報	12,000字以内
実践報告	8,000字以内
資料	16,000字以内

## 《改正後》

### 2. 投稿論文の種類

1) 受け付ける論文の種類は、総説、原著、実践報告、資料であり、それぞれの内容は下記のとおりである。

- ・**総説**：看護技術に関わる特定のテーマについて、多面的に内外の知見を集め、また文献などをレビューして、当該テーマについて総合的に学問的状况を概説し、考察したもの。
- ・**原著**：研究そのものに新規性または独創性、および有用性があり、方法の信頼性、妥当性が高く、データに基づいた知見が論理的に示されており、看護技術学の発展に資するもの。
- ・**実践報告**：看護技術の研究および実践の発展に貢献できる報告で、看護実践で工夫したことなどの事例報告や看護技術の研究および看護実践に有用であるもの。
- ・**資料**：看護技術に関する最新の情報、データを含んでおり、看護技術研究および実践の発展に貢献できるもの。もしくは、編集委員会からの依頼原稿とする。

なお、論文種は、最終的には編集委員会が決定する。

### 7. 原稿執筆の要領

2) 原稿は A4 判横書きで、1 行の文字数を 35 字、1 ページの行数を 28 行 (約 1,000 字) とし、適当な行間をあける。その際、各頁の下中央に頁数を記入する。また、行番号を付与する。

4) 原稿 (資料を除く) には 250 語前後の英文抄録ならびに 400 字程度の和文抄録をつける。英文抄録は表題、著者名、所属、本文の順にダブルスペースで記載する。論文種が資料の原稿には、和文抄録のみを添付すること。

なお、英文抄録作成にあたってはネイティブチェックを受け、原稿投稿時にその証明書 (形式は任意) を添付すること。また、受理された投稿原稿について、編集委員会の判断により、再度ネイティブチェック証明書の提出を求められることがある。

5) 投稿原稿の 1 編は本文、文献、図表を含めて下記の文字数以内とする。

総説	16,000 字以内
原著	16,000 字以内
実践報告	12,000 字以内
資料	12,000 字以内